

2020年 8月 2号 閃電疑惑を許さない！ いのちを護る教育を！ 平和憲法を護る！



「カーナビ」は知らせない 8月6日と9日の原爆投下

今のカーナビは、「明けましておめでとうございます。〇〇年元旦です。」とか、「メリークリスマス」とか「今日は〇〇〇の日です。」と、自動車のスイッチを入れると、運転手にお知らせがあります。

「今日は、何を言うだろうか？」と、8月6日に車にのったら「今日は〇〇の日です」と「広島被爆」の事は何も言いません。9日も、「今日は〇〇の日です」で「長崎被爆」の事はメッセージしませんでした。

毎年、内閣の閣僚も出席し開かれる平和祈念式典があり、報道各社はどこもトップ記事です。カーナビメーカーの意思？ か、自動車メーカーの意思？ か、「私の聞き間違いか」定かではありませんが、「戦後75年、語り継ぐ人間が少なくなった。」と心配されながらも、「忘れるものか、青白い光が奪ったあの人」「長崎 最後の被爆地に」と、被爆者の心は報道されています。

しかし、日本のカーナビには、「原爆投下の日」よりも「〇〇〇記念日」の方が重要なようです。新型コロナの影響を受けながらも被爆地では、被爆者と遺族が参列されました。国連やEU代表も出席される「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」の日に「被爆」をメッセージしないカーナビを作る企業は「原爆、戦争の風化」を「放置」していると、言われてしまわないか？ 心配です。「企業の社会的責任が問われる」との市民の声が聞こえます。岐阜市役所では、「広島・長崎被爆の日」両日、庁内放送が流れます。

平和憲法改正と敵地攻撃能力？！

「戦後最長の好景気か？」と宣伝されていたと思いますが、ネーミング「アベノミクス」も報道各紙が「終わった」と声をそろえました。

現政権では声高らかにした「憲法改正」が出来ないと判断したのか、解釈変更で何でもやってしまう政権が「敵地攻撃能力」を自衛隊が持つようにとの議論に参入しようとしています。「内政不安時には外に国民の目を向ける」時の政権の常套手段であるなら、あまりにも危険です。新型コロナ対策で、「アベノマスク」に代表される、支離滅裂、右往左往、「判断を各県知事へ丸投げ」政権の思考停止状態で、「先制攻撃を可能とする軍事力を保有する判断」が冷静に出来るのでしょうか？ 今は、新型コロナで大変な国民生活の救済が、求められる最も重要な仕事では、と、お盆の前に思います。

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

大雨の季節、今泉排水機場の稼働改善

近年の雨は、先日の災害例を挙げるまでも無く滝のように降るので、一気に水が集まります。我が家の構造はトタン屋根なので、小雨、大雨、激雨、すべて音で分かります。夜には目が覚めます。大屋根の雨水は雨どいから中庭に集まり、床下の水路を伝って表の側溝に流れます。

が、構造が悪く、落差が少ないので、側溝が満水になると庭に雨水があふれます。降り方が激しいと、排水よりも雨量が勝り、排水マスの蓋を持ち上げてしまいます。実はこれが計測器になって、今泉の排水機場が稼働しているか、停止中か、良くわかります。排水機が動くと、即、排水マスの水が引きます。先日、排水マスの蓋が飛んだ時は、道路側溝の水が満杯で、道路も冠水。おそらくケヤキ並木は、もっと水に浸かっていたと思います。最近、たびたび起こるようになりました。

事情をお話ししましたら、河川課で今泉排水機場の運転判断水位を、改善して頂ける事になりました。我が家の計測器が、少しお役に立ったようです。

G o T o を 首相「推進」だが？

判断すべきところで、判断が遅く、ブレーキも遅いし、なかなか止めない。イメージが付きまといます。首相が「推進」と聞くと、「大丈夫かしら」と思えてきます。この政権の判断力には疑問が残る。

岐阜県知事は「第2波」だと言われる。国はまだ、はっきりしない。明確でないまま「G o T o」は推進されるのか？ 岐阜市では高校の感染情報が相次ぐ、夜8時過ぎに保健所から鶯谷高校の感染報告が入った。お盆前、全国を大移動が新型コロナと共に、席捲しないか心配。

今すべきは、来年度に向けて「資本の地産地消」ではにか？ 県内、市内での経済活性化に重点を置くことではないか。観光に限らず、公共事業での活性化は、自治体のすぐ行える施策。道路、側溝など地元工事業者の多く参加できる工事発注で、市内での資本の還流を刺激しなければ。と、思います。首相の推進するG o T o 予算は、地方自治体に頂ければ、感謝されるのに？ と、思います。

幸い、第2回の「アベノマスク配付」は中止となったようです。判断力も冴えないが、首相の顔色もところなしに冴えない。



松原のりかず
☎058-253-2500